きらきらつうしん

2014年　冬号　No.22

つめたい風がぴゅーっとふいたら、冬のはじまり。
あたたかいおうちで、素敵な絵本の世界へでかけよう！

すてきなクリスマス

もうすぐクリスマス！1年をかけて、もみのきは大きくなり、
サンタさんはプレゼントを準備します。

『ちいさなもみのき』
マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく
バーバラ・クーニー／え　かみじょう　ゆみこ／やく
福音館書店　1993年　（E　アオ　ク）

『あのね、サンタの国ではね・・・』
黒井　健／絵　嘉納　純子／文
松本　智年　一色　恭子／原案
偕成社　1990年　（E　アカ　ク）

きょうだいっていいね

ちょっぴりいじわるなお兄さんも、優しいお姉さんも、
妹や弟にとってはかっこよくて、たよりになる存在です。

『ティッチ』

パット・ハッチンス／さく・え　いしい　ももこ／やく
福音館書店　1975年（E　アオ　ハ）

お兄さんとお姉さんは大きな道具をいろいろ持っています。けれど、小さいティッチは小さいものばかり。三りん車、かざぐるま、ふえ、くぎ、そしてとても小さい種です。

『あさえとちいさいいもうと』

筒井　頼子／さく　林　明子／え
福音館書店　1982年（E　アカ　ハ）

あさえにはちいさな妹のあやちゃんがいます。お母さんが出かけている間、一緒に外で遊んでいたのですが、ふと目をはなしたすきに、あやちゃんがいなくなってしまいました。

『ぼくだけのおにいちゃん』

福田　岩緒／作
文研出版　2009年（E　アカ　フ）

ぼくのお兄ちゃんはいばっているけれど、遊んでくれるから大好き。幼稚園のお迎えにきてくれたけど、いつもとちがう道で帰るお兄ちゃん。必死に追いかけますが…。

2015年は何年？

ひつじ年！

ひつじ（未）は十二支の8番目。
同じ行動をとり、おおぜいで暮らすひつじは、
家族がいつまでも平和で穏やかにすごせるという意味があります。

『まりーちゃんとひつじ』
フランソワーズ／文・絵　与田　準一／訳
岩波書店　1980年　（E　アオ　セ）

まりーちゃんの飼っているひつじの名前はぱたぽん。ぱたぽんがこどもを1匹産んだら…2匹産んだら…と、まりーちゃんとぱたぽんのリズミカルなやりとりが楽しいお話「まりーちゃんとひつじ」と、「まりーちゃんのはる」の2話入っています。

『ひつじのメェーリンダ』
マヌエラ・サルヴィ／作　ルーシー・ミュレロヴァ／絵
鈴木　敦子／訳　岩崎書店　2008年　（E　アオ　ミ）

ひつじのメェーリンダは、毎日下ばかりみて草を食べることにあきてしまいました。そこでリンゴの木の上で生活することに。木の上の生活は上手くいくのでしょうか？

『ひつじのむくむく』
村山　桂子／さく　太田　大八／え
福音館書店　1990年　（E　アカ　オ）

こひつじのむくむくは、遊んでほしいのに、おひゃくしょうさんも、うしも、ぶたも、めんどりも、あひるも忙しくて遊んでくれません。やっとむくむくが見つけた遊び相手とは？むくむく大ピンチ！

絵本作家さん　こんにちは！

国内・国外を問わず、絵本作家さんを作品とともに紹介していきます。
第３回目は、ちょっぴり怖いようで、楽しい作品を描くトミー・ウンゲラーさんです。

『すてきな三にんぐみ』

トミー＝アンゲラー／さく　いまえ　よしとも／やく

偕成社　1969年　（E　アオ　ウ）

トミー・ウンゲラー。1931年フランスアルザス地方のストラスブール生まれ。10代後半からあちこちをスケッチしながら放浪の旅をしているなか、旅先で病となり、その後美術学校へ。アメリカのニューヨークに憧れを抱いており、1957年ついにたどりつきます。お金もないウンゲラー氏が倒れそうになりながらもある出版社へ作品を見せると、編集者は作品を気に入り、以来、絵本、広告美術、おもちゃづくりなど様々な分野で活躍をしています。ウンゲラー氏の作品は絵本では主役になりにくいキャラクターにスポットをあてており、『すてきな三にんぐみ』も山賊が主人公ですが、鮮やかな色使いとどこか愛らしい姿、そして物語の意外な結末も魅力のひとつです。読み聞かせにもおすすめの1冊です。

えほんの会のおしらせ

日にち：毎月第4木曜日
時間：10：00～10：30
場所　：キッズステーション

2，3歳から5歳までのお子さま
対象の読み聞かせの会です

12月25日　1月22日　2月26日

行事により変更する場合があります。

市川市市川駅南口図書館　指定管理者　（株）ヴィアックス
〒272-0033　市川市市川南1丁目10番1号
I-Linkタウンいちかわザ・タワーズウエスト3階　047-325-6241